

内藤吐天（いんどうてん） 俳人。明治二十二年二月五日岐阜縣生れ、昭和五十二年五月十日百歳（一九〇一七六）。本名多喜天。別號宣雨亭主人、龍膽寺堂等。大正十二年東京帝國大學醫學部藥學科卒。東京藥學專門學校教授、鳴海藥學專門學校校長、名古屋市立大學、名城大學各教授歴任、藥學博士。俳句は志田義秀（號素琴）、大須賀乙字の師。雑誌『春瀾都』同人。昭和二十一年俳誌『早蕨』創刊主宰。

譯著書、ヤノン、ポオ作『タニ博士とエザザ教授の治療法』（龍膽

夏名、譯、昭和二十一年九月、二十八日

南史書院「春瀾都南朝叢書」

『俳句評釋』（伊東月草編、昭和

五年七月十日俳句講座刊行會）

句集『落葉松』（昭和十年十月）

十日東京書房「東京叢書」、エ

ドガ・A・ポオ作『狂瀨院（タニ博士とエザザ教授の治療法）』（譯

再版、昭和十一年九月、二十一日山本書店「山本文庫」）、『古俳句評

釋』（昭和十六年九月十日廣川書店）、句集『早蕨』（昭和十八年九

月、二十日青磁社）、句『鳴海抄』（昭和二十一年五月五日近藤書店）、

句點心』（昭和二十八年十一月十日愛知・早蕨發行所、弘川書店発）

等。

